

## 京華中学校 入学試験問題 社会

1 次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

2024年、ドラマ『SHOGUN』が世界を席巻した。テレビ番組のアカデミー賞といわれるエミー賞において、真田広之が日本人俳優として初めて主演男優賞を受賞するなど、史上最多の計18冠に輝いた。

このドラマは日本の①戦国時代を舞台に②徳川家康をモデルとした主人公を中心に描いた作品である。主に③大阪などでの武将たちの駆け引きをフィクションで描いている。ハリウッドで作られた作品であるが、見事に日本の武士道精神を表現している。

④武士道精神とは、「恐れを捨てることで気をまとい、真っ直ぐ生きる覚悟」や「他者を思いやり、自分を捨てる覚悟で他者のために生きる思い」である。その武士道精神はどのように形成されたのか。⑤鎌倉時代から江戸時代にかけて武士に関する様々な考え方や歴史が積み重なった。その後、近代化とともに「日本人」という意識が強調されたことによって、今まで積み重なった武士に関する様々な考え方や歴史から日本の武士道精神は創造された。例えば、明治時代には⑥札幌農学校出身でもある⑦新渡戸稲造が『武士道』という本を著した。その中で新渡戸は武士道精神を「義・勇・仁・礼・誠・名誉・忠義」の7つの要素にまとめ、その考えを世界に紹介した。ただ、⑧太平洋戦争では武士道精神が軍部によって意図的に解釈されて、玉砕や特別攻撃隊（通称「特攻」）などの惨禍が起こることとなった。このように日本の武士道精神は時代を経る中で形成され、新たな解釈や考え方も派生して、今に至る。

日本の武士道精神がそうであるように、人々の考え方や文化は歴史の中で積み重なって形成される。例えば、⑨江戸時代の文化は、現代日本の考え方や文化に大きな影響を与えている。江戸時代、庶民は旅行や観劇などの娯楽を楽しんだが、昨年大ヒットした日本映画である『国宝』のテーマの歌舞伎もその一例である。さらに、今でいうファストフードとして⑩寿司や天麩羅なども江戸の庶民が育んだ食文化と言える。このように江戸時代、庶民が文化の担い手になっていき、それが現代日本のポップカルチャーの礎を築いていったのである。

また、人々の考え方や文化の形成には、地理的な背景も大きな影響を与える。例えば、⑪天災の多い日本では、この世のすべてのものが常に変化し、永遠不変ではないという無常観や、運命には抗えないといった考え方が生まれた。ドラマ『SHOGUN』でも未曾有の地震に遭い、村が呑み込まれていくシーンにはそういったものが描かれている。

人々の考え方や文化は、歴史や地理的な要因によって形成されるが、同じ社会や歴史に生きる人々であっても皆同じものを持つとは限らない。それぞれ考え方が違う多様性の社会が存在する。しかし、現代社会に目を向けてみれば、皆同じような「らしさ」とにたわれて、分断や対立がむしろ深まっている。社会には多様な考えや価値観を持つ人々がいる。「らしさ」という見方で全てを判断しようとするのではなく、一人ひとりの「違い」を深く理解しようと努力することが大切である。

人は理解できないことからくる恐怖をもつだろう。それを捨てて、他者に礼をつくし、真っ直ぐ向き合い、対話することで、対立をなくすことができる。だからこそ、今の社会に武士道精神は必要なのかもしれない。

問1 下線部①について、次の問いに答えなさい。

- 戦国時代は京都で起こったある戦乱で多くの守護大名が衰えたことに始まります。有力守護大名同士の争いや足利将軍家の後継争いなどが原因で始まったこの戦乱を何と言いますか。解答らんに従って漢字2字で答えなさい。
- 戦国時代に起こった、実力によって下の身分の者が上の身分の者を倒す風潮を何と言いますか。漢字3字で答えなさい。
- 戦国時代に関する出来事について述べた文A～Cを時代が古い順に並べ替えたとき、正しいものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- A ポルトガル人が種子島に流れ着き、日本に鉄砲が伝えられた。  
B フランシスコ・ザビエルが鹿児島に来て、初めて日本に基督教が伝えられた。  
C 織田信長は長篠の戦いで武田勝頼の軍を打ち破った。

ア A→B→C    イ A→C→B    ウ B→C→A    エ B→A→C

問2 下線部②の人物が存命中（1542年～1616年）に起きた出来事として誤っているものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 重税と基督教に対する弾圧に反発して、島原・天草一揆が起こった。  
イ 大阪冬の陣・夏の陣がおこり、豊臣家が滅亡した。  
ウ 本能寺の変が起こり、織田信長が自害した。  
エ 文禄の役、慶長の役の二度にわたって朝鮮へ日本軍が侵攻した。

問3 下線部③に関して、大阪の工業について述べた文として誤っているものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 堺市は内陸部に位置し、石油化学工業が盛んである。
- イ 東大阪市は金属加工や機械の部品を作る中小企業が多い。
- ウ 門真市は電気機械工業が盛んである。
- エ 泉佐野市などの泉州地域はタオルの製造など繊維業が盛んである。

問4 下線部④について、その一つである「礼」とは相手への敬意と感謝の心を示すことです。それは厩戸王（聖徳太子）による「和を以て貴しとなす」にも通じる内容です。この一節が書かれている史料を何と言いますか。漢字5字で答えなさい。

問5 下線部⑤に関して、この時期に記された史料A～Dを時代が古い順に並べ替えたとき、正しいものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。なお、史料は出題にあたって簡単な日本語に直しているところがあります。

[史料A]

- 一 大名は、学問と武道にはげむこと。
- 一 大名は、毎年四月に参勤交代すること。
- 一 許可なく城を修理したり、新しい城をつくったりしてはいけない。
- 一 大名は勝手に結婚してはいけない。
- 一 五百石以上の船をつくってはいけない。

[史料B]

正長元年9月、天下の土民（農民）が立ち上がった。酒屋・土倉・寺院などを壊して、いろいろなものを勝手に奪い、借金証書も全て破り捨てた。管領がこれをしずめた。このようなことは国が減んでしまう大きな原因である。土民が立ち上がったのは、日本の国が始まって以来初めてのことである。

[史料C]

- 一 諸国の農民が、刀・やり・鉄砲などの武器を持つことをかたく禁止する。武器をたくわえて、年貢を出ししぶり、一揆をくわだてて領主に反抗する者は、厳しく処罰する。
- 一 取り上げた刀は、このたび新しく大仏をつくるときのかぎなどにして役立てるから、農民は仏のめぐみで、この世だけではなく死後も救われるだろう。

[史料D]

皆、心を一つにして聞きなさい。これが私の最後の言葉です。亡き頼朝公が宿敵（平家）を滅ぼし、鎌倉に幕府を開いてから、お前たちの官位は上がり給料もずいぶん増えました。よい暮らしができるようになったのではありませんか。すべてこれ、亡き頼朝公の御恩です。その御恩は、山よりも高く、海よりも深いのです。今、反乱者（後鳥羽上皇）によって、理に反した命令が下されました。今こそ頼朝公への御恩を返す時です。御恩を感じて名誉を大切にする武士ならば、よからぬ者を討ち取り、三代にわたる将軍家の恩に報いなさい。ただし朝廷側につこうという者があれば、それは構いません。早く行きなさい。

- ア B→D→C→A      イ B→A→D→C      ウ D→B→C→A      エ D→B→A→C

問6 下線部⑥に関して、北海道の農業について述べたものとして誤っているものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 十勝平野では輪作を行っており、じゃがいもや小麦が作られている。
- イ 北海道全体では小豆やたまねぎ、さとうきびなど様々な作物が収穫量全国1位である。
- ウ 石狩平野では米の生産が盛んである。
- エ 根釧台地では酪農が盛んである。

問7 下線部⑦の人物は国際連盟の事務局次長を務めた人物です。国際連盟について述べたものとして正しいものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア アメリカ、中国、イギリス、フランスが常任理事国であった。
- イ アメリカのニューヨークに本部が置かれた。
- ウ 必要に応じて軍事制裁が認められていた。
- エ 議決方式は原則として全会一致制であった。

問8 下線部⑧に関する出来事について述べた文A～Cを時代が古い順に並べ替えたとき、正しいものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- A 広島・長崎に原子爆弾が投下された。  
 B アメリカ軍が沖縄に上陸した。  
 C ミッドウェー海戦が勃発した。

ア B→C→A    イ B→A→C    ウ C→A→B    エ C→B→A

問9 下線部⑨について、江戸時代に描かれた絵画として誤っているものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

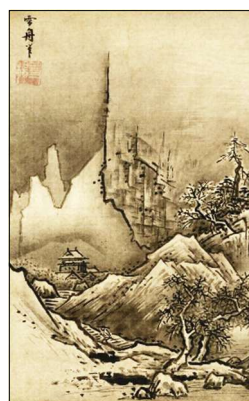
ア



イ



ウ



エ



問10 下線部⑩について、エビはよく寿司や天麩羅の具材となります。エビについて述べた文章にある空らんXに当てはまる語句を、解答らんに従って答えなさい。

<文章>

日本の気候や土地は、エビの養殖に適した地域が限られている。そのために養殖には高い管理技術とコストが必要なためエビの国内生産量が限られており、が低い。

問11 下線部⑪について、次の問いに答えなさい。

(1) 次の(写真1)～(写真3)は同じ原因によって災害が発生した状況を撮影したものです。この災害の原因として正しいものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

(写真1) 地面より高くなったマンホール



(写真2) 段差ができてむき出しになった配水管



(写真3) 土砂と水があふれた地表



- ア 河川の氾濫    イ 地震による津波    ウ 火山噴火による火山灰の堆積    エ 地震による液状化

(2) 今年の夏の酷暑は災害級であったといえます。特に北海道東部は異常な暑さに見舞われました。その一因について述べた文章にある空らんYに当てはまる語句を、解答らんに従って答えなさい。

<文章>

北海道東部（オホーツク海側や太平洋東部）は驚くべき高温が記録された。その理由としては、まず大陸から流れてきた暖かい空気に包まれていたことと、高気圧に覆われて晴れて日差しが強かったことが挙げられる。さらに高気圧から吹き出した南西の風が石狩山地や日高山地を越えることで発生したが起こったからである。

2 次の会話を読み、あとの問いに答えなさい。

京太郎：先生、最近「①家族の形が変わってきている」って聞いたんですけど、昔と今ではそんなに違うんですか？

先生：とてもいい質問ですね。昔の日本では②家制度という考え方があって、家族は一つの家を中心にまとまって生活していました。祖父母、両親、子どもと一緒に暮らす大家族が一般的だったんですよ。

京太郎：家制度って、どんな制度だったんですか？

先生：明治時代にできた制度で、家族の中で戸主と呼ばれる人が家族を代表していました。結婚や養子縁組には戸主の同意が必要で、家族の中でも男性が中心になる仕組みでした。

京太郎：今はそんな制度ないですよね？

先生：はい。新しい憲法になり、家制度は廃止され、③男女の平等が認められるようになりました。家族の形も大きく変わっていったんです。

京太郎：今は、親と子だけの家族が多いですよね。

先生：そうですね。今は④核家族が主流です。さらに最近では、一人暮らしの単身世帯も増えています。これは働き方や価値観の変化が関係しています。

京太郎：価値観の変化ってどういうことですか？

先生：昔は、結婚して家を継ぐことが当たり前とされていましたが、最近では、家族の形が多様化しているんです。

京太郎：それって「⑤個人の尊重」っていう考え方につながるんですね。

先生：その通りです。「個人の尊重」や「多様性の理解」がとても重要です。家族の形が一つではないことを認める社会になってきているんですよ。

京太郎：じゃあ、家族の形が変わっても、それは悪いことじゃないんですね。

先生：そうです。形が変わっても、家族の絆や支え合いの気持ちは大切です。社会もそれを支える制度を整えていく必要があります。⑥などの新しい行政組織も誕生しました。

京太郎：なるほど。社会って、家族の変化にもちゃんと対応しなければなりませんね。

先生：そうですね。これからの社会では、誰もが自分らしく生きられるように、制度や考え方も柔軟じゅうなんになっていくことが求められます。ただし、どんなかたちであっても、支えあう気持ちが家族の基本であり、家族の大切さはどんな時代でも変わらないはずですよ。

問1 下線部①について、資料から三世帯同居の割合は減少しています。三世帯同居の減少により、社会に求められる支援として最も適切なものを、会話をふまえて、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

家族類型の構成割合の変化

家族類型	1980年(昭和55年)	2020年(令和2年)
夫婦と子ども	42.1%	25.0%
三世帯同居	19.9%	7.7%
単身世帯	19.8%	38.0%
その他	18.2%	29.3%

(総務省統計局「国勢調査」により作成)

ア 高齢者施設や介護サービスの充実    イ 家制度の強化    ウ 長男への相続の集中    エ 三世帯同居の義務化

問2 下線部②について、次の問いに答えなさい。

(1) 家制度に関する説明として正しいものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 家族全員が平等に財産を相続できる制度
- イ 長男が家を継ぎ、家族を代表する制度
- ウ 女性が家族の代表となる制度
- エ 子どもが自由に結婚できる制度

(2) 家制度が廃止されたのは何年ですか。正しいものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 1868年    イ 1923年    ウ 1947年    エ 1989年

- 問3 下線部③に関連して、男女平等の理念が進められる取り組みとして最も適切なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。
- ア 男性の教育機会の制限
  - イ 男性だけが政治に参加できる制度の強化
  - ウ 育児休業制度の男女共通化
  - エ 女性だけが結婚をしたら、仕事を必ず辞めるという習慣
- 問4 下線部④について、核家族とはどのような家族ですか。その形として正しいものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。
- ア 親、子、祖父母、叔父<sup>おじ</sup>などが一緒に暮らす家族
  - イ 親と子だけで暮らす家族
  - ウ 一人で猫と暮らす家族
  - エ 兄弟や友人と暮らす家族
- 問5 下線部⑤について、日本国憲法第13条の個人の尊重に関して述べたものとして、正しいものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。
- ア みんなと同じ考えを持つことが、個人の尊重に大切である。
  - イ 国民が自由に幸福を追求できることが、個人の尊重である。
  - ウ 国の決まりに従うことだけが、個人の尊重につながる。
  - エ 家族の意見を優先することで、個人の尊重が守られる。
- 問6 空らん⑥にあてはまる語句を解答らんに従って答えなさい。また、この省庁が設置された主な目的として正しいものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。
- ア 少子化対策として高齢者の支援を強化するため。
  - イ 子どもに関する政策を一つの機関でまとめて進めるため。
  - ウ 教育制度をすべて民間に任せるため。
  - エ 外国人の子どもの教育を充実させるため。